

アフリカの子育てから学ぶ



セネガルの生活について語る内村知子さん

中野市公民館報

2013
No.103
(通巻No.635)

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

今月号の特集
食育共同プロジェクト
長丘小学校2年生 & JA長丘青年部

家庭教育学級「子育ていきいきサロン」

北部公民館で、西アフリカのセネガル共和国で青年海外協力隊員として活動された看護師の内村知子さんに、同国の子育てや生活習慣について講演していただきました。

一夫多妻制のため家族が10人以上と大所帯。水くみから始まる家事全てが手作業という重労働を女性が行っている。だからこそ妻同士は仲が良く、お互いに家事を分担し助け合う。

食事は一つのお皿に盛られたお米を皆で食べ、子どもの命名式はお祭りのように派手に行ない、皆が地域の子どもとその親を知っているから、悪い事をすれば誰の子であつても叱る。

小学校卒業率の低さや衛生問題もあるが、子ども達は常に友達や家族と一緒にいきいきしている。

参加者の「生活や子育てのスタイルに驚きましたが、その国に合った工夫がされており、日本の戦後とかぶる子育てのスタイルだと感じました」「日本の子育ての常識は世界では非常識いろいろ悩む事もありますが、あまり根柢めなくとも子どもは元気に育つのかなと思いましたが」という感想は、子育てのマニュアルにこだわって、忘れかけている育児の大切な何かを語っているのではないのでしょうか。

あおぞら

年を取ると月日の経つのが早いとよく言われているが、私も近年そのことを実感している。スキートのシーズン券購入案内が届いたので先月、購入の手続きをしておいた。スキーは冬の一番の楽しみであるが、無積雪期は山登りが面白い。今年の5月に80歳の三浦雄一郎さんが、史上最高齢でエベレスト(8848m)登頂を成し遂げた。「目標を持ち、チャレンジすることがあれば、老いを感ずることはない」と語ったそうである。

6月に富士山が世界文化遺産に登録され、富士登山が注目された。山頂で日の出を迎えるため夜を徹して登る「弾丸登山」なる言葉を知った。

私は、近くの山に登るのが一杯である。8月の天候の安定した日、妙高山(2454m)に登った。50年以上前に中学の学校登山で登ったが、その記憶は薄く、山頂で撮ったクラス集合写真を見ると断片的に思い出す程度である。同じ場所で写真を撮ろうと集合写真を持参し、背景に写っていた特徴的な岩を手掛かりにその場所を探し当ててシャッターを切った。

平均寿命が男女そろって全国1位となった長野県。男性でも80歳を超えた。私も、もうしばらくスキーや山登りが楽しめようである。(千)



土寄せが終ったよ!

「僕たち・私たち・
そして
俺たちの味噌!」

長丘小学校2年生
& JA長丘青年部

食育共同プロジェクト

 それは
枝豆から始まった

「大豆を作ってみたいと考
えてるんだけど、どう思う」
この一言で順調に大豆栽培に
進んでいけると思った。しか
し、子どもたちの反応はとい
うと「してもいいけど…」乗
りきれていない。これはやば
い。担任の私は頭を回転さ
せ、「大豆って枝豆に変身し
てから大豆になるんだよ」と
一言。「枝豆いいね」と一
人の子。そこから「枝豆食べ
たいね」のオンパレード。畑
の名前は「JA畑&大豆いっ
ぱい畑」に決定!!そこから大
豆栽培は始まった。

 大豆の種まき

大豆が豆腐や味噌、きな粉
納豆、しょうゆ、油揚げ、節
分の時に使う豆に変身するこ
とを知った子どもたち。その
後、JA長丘事業所の方から
一本の電話。今年も長丘小学
校2年生と食育活動の一環と
して大豆栽培をさせていただ
きたいとのこと。この話にの
らない手はないと思い、子ど
もたちに伝えると「いいよ」
と即答。子どもたちのお父さ

長丘小学校2年生担任 池上 宣広

んが数名青年部に所属してい
ることも理由の一つとして大
きかったと感じています。

6月13日。「種が赤い!」
子どもたちは興味津々。以前
見た大豆の種はミルクっぽい
色だったからです。先頭の
一人が種を3粒ずつまき、後ろ
の一人が足で軽く土をかけて
いきましました。表情は真剣そ
のものです。「たくさん土をか
けていいんですか」「4粒蒔
いていいんですか」と聞いて
いました。青年部の方が「種
をふんじやいけないよ」と
指導してくれたら、「種は踏
まないように気をつけよう」
「ほらっ。股を開きなながらそ
のまま進むんだよ」と意識
していました。「あつ、ごめ
ん。種をふんじやったかも」



鳥よけに赤く着色した種

「たねまきをしてみて」
さいしよにだいたいの
たねが、赤い色だった
から、だいたいのたね
のかた?と思いましたが、
で、たねまきをした
ときたいへんだったで
す。おわたたとき、手
が赤くなっていました。
たのしかったです。
二年 江本歩楓

「土をたくさんかけ過ぎたか
もしれない。やつちまった」
「大丈夫だと思うよ。次から
気をつけようよ」と子ども
たち。「大丈夫だよ。心配ない
から安心してね」と青年部
の方がた。とても温かい雰
囲気で種まきが終わりました。

土寄せ

7月22日。鍬で柔らかくした土を足で大豆の根近くの茎に寄せる作業をしました。「大豆が大きくなってる」とみんな口々につぶやきながら、口チャックで働いていました。「鍬が重いから交代して」「いいよ。半分まで行ったらね」と思いやりのあるペア。「おくれちゃったね」「もうすぐで終わるから最後までやろう



土寄せの仕方をよく見てネ!

よ」と励ましの言葉を掛け合うペアと様々でした。その後、土寄せをしての感想や友だちの良いところを青年部の皆さんの前で発表しました。「難しかったけど、ペアの友だちと協力して土寄せができてよかったし、楽しかったです」「大豆を育てることは、すごく大変だと思いました。草取りしたり、毎日欠かさず水をあげないといけないし、大豆が倒れないように土寄せをしたりするからです。今日は疲れたけど、集中して土寄せができました」など、子どもたちの率直な感想が出されました。また、「大豆をつくることは大変だけど、みんなで協力して大豆になるまで見守り育てたい。大豆を収穫したら、豆腐を作って自分たちの手で作った大豆の味を噛みしめたい。みそを作って、みそおにぎりにしてほおばりたい。大豆からきなこを作り、ご飯にたっぷりかけて食べて

みたい」などが子どもたちの大豆にかける思いと願いです。(9月17日(火)に枝豆試食パーティーをして、一つ目の願いを達成しました)子どもたちの思いを受けて、担任として大豆にかける思いは、大豆ができたら、子どもたちの思いや願いを達成させてあげたいというのが率直な気持ちです。さらに、大豆栽培を通して、体を動かすことの心地よさ。食物に感謝の心や愛情をもつことの大切さ。大豆を育てる大地や水や太陽の凄さ。大豆を様々な食物に変え、味わうことで大豆の万能力やありがたさを感じてほしいです。今後引き続き、JA長丘青年部の皆さんと連携し、力を合わせて手作り感あふれる大豆を栽培していきます。11月に大豆収穫です。残り一か月間、たくさん体を動かし、たっぷり愛情を注いでいきます。



どう! うまいでしょう

JA中野市青年部 長丘支部 支部長 大塚 隆志

「俺たちの思い」

JA中野市青年部長丘支部は、4年前から長丘地区で耕作されずに荒地となった農地を活用し、地域の食育活動の一環として大豆を栽培しています。長丘小学校の2年生に種まきや土寄せなどの作業を体験してもらい、9月には畑で「枝豆パーティー」を開催し、生徒と一緒にゆでて食べました。大豆を収穫したあとは市内の味噌店にお願いし、



やっと枝豆に会えた!

できあがった味噌は昨年からです。材料は、地元長丘産の米を大豆に加え2tの味噌が出来上がりました。

特に今年の中野市JA青年部が50周年を迎え、10月には各支部の発表が予定されています。私達の支部では、昨年の長丘小学校の2年生と一緒に育て収穫した味噌に「にこにこみそ」の生徒のオリジナルラベルを貼り様々なイベントで活用して行こうと考えています。



昨年作った「にこにこみそ」



青年部のお兄さんと

こんにちは 分館

小沼区は、延徳たんぼの中に位置し、春は蛙の合唱が賑やかで、秋にはイナゴ取りで賑わう世帯数48戸の小さな区です。

小沼分館は、分館長・主事の他5名計7名で、小沼育成会の役員も兼務しています。

さて、小沼分館の事業を紹介します。7月、延徳地区分館球技大会を皮切りに、市民祭シンシヨン祭りに参加しました。そして今年には皆勤賞をいただきました。8月、

小沼分館

お盆の16日灯ろう流しと、育成会協賛で子どもの花火大会がありました。里帰りした人々の子ども達も大勢参加していただき、賑やかなひとときでした。9月は敬老会が予定されており、48名を招待しました。12月しめ縄作り講習会、1月どんど焼き、2月わら馬作り講習会の開催が計画されています。

公民館活動も少子高齢化の中、変えていかねばならないこともあり、受け継がれてきた事を伝えて行く事も大切であるように思います。今後分館活動に大勢の区民の皆様に参加していただけます様ご協力をお願いします。

(小沼分館長 松澤 久雄)



シンシヨン祭りに参加

ふるさとの歴史

小沼区は、延徳田圃のど真ん中に位置する集落で標高320m。千曲川の水が延徳田圃へ浸水する立ヶ花の標高は約330mである。そのため千曲川の水位が上がると、篠井川へ逆流し、湛水してしまう。小沼区の歴史は水との戦いでもあった。

慶応元年五月一五日より

降り出した雨は、一七日まで大降りであった。そのため、午後二時頃より千曲川から篠井川へ水が逆流し始めた。濁流は土堤も乗り越えた。早鐘が打ち鳴らされ、近村では猫掻、蓆、土俵、さらに、郷倉入の籾・大豆・米俵まで

小沼村の住居替え計画

持ち出し水を防ごうとした。しかし、徒労であった。家財道具は流され、二兵衛・仁左衛門・新兵衛・嘉助の家は潰れ、勘右衛門・茂右衛門・六兵衛・仁兵衛・八郎右衛門の物置は流され、雪隠(便所)は村中全部流されたり潰れたりしてしまった。

北大熊村では、村人が心配して、村中の人馬を出し、水浸しになった衣類や俵物を干すために、水の入らなかつた北大熊の山手に運んでくれたので、三日位は往来はよけ違いができないほどの混雑状態であった。

このような、出水は弘化四年の震災以来、千曲川の河床高により一段と多くなっていた。

そこで、慶応三年、根本的な水難対策として、村中住居替えが検討され出した。場所は延徳地区の東部、篠井、小沼、北大熊、大熊各山々が連なる山手である。しかし、耕地がから

むので他村からの協力は得られず、三ツ谷地区から恵比寿山まで続く、小沼山が対象地として考えられ、住居の場所もくじ引きで決め、八月には測量も始められたが、以前からくすぶり続けていた千曲川沿岸の築堤問題が再燃しこの計画は消滅した。

(松沢邦男)

中野市女性団体

連絡協議会研修視察

富岡製糸場に行ってきました！

中野市女性団体連絡協議会は、会員相互の交流を図るため研修視察を毎年行っています。

今年9月10日(火)世界遺産登録を目指している富岡製糸場に行ってきました。

秋晴れの爽やかなお天気の中19名が参加。明治5年に建てられた歴史あるレンガ造は見事なものでした。日本の産業の歴史を身近に学ぶ事ができ、大変有意義な一日となりました。



富岡製糸場前で記念撮影

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	地域の歴史講座	11月20日・11月27日・12月4日（毎回水曜日）午後7時～午後8時	勤労青少年ホーム	畔上不二男先生 太田 典孝先生 酒井 健次先生	<定員>70名程度 <受講料>無料 <申込み>10月21日(月)から
	公民館ギャラリー 書道どんぐり・25書道友の会				
西部公民館	デジカメ講座 プロのテクニックを学ぼう! ※FACEBOOKやホームページにワンランク上の写真を載せませんか!カメラ女子も大歓迎!	10月26日(土)・11月2日(土) 午前10時～正午 (全2回)	西部公民館	スタジオ ハイ・ブッシュ 大井川茂先生	<対象>高校生以上 <定員>20名 <受講料>無料 <持ち物>お手持ちのデジカメを持って来て下さい。充電を忘れずに。(一眼レフ講座ではありません。普通のデジカメを使います。)
	スポーツバイク 入門講座 中野・小布施サイクリング 興味ある方、仲間を作りたい方は是非!	10月27日(日) 午前9時～正午 会場 晴天時 中野市民プール駐車場 集合・解散)雨天時 西部公民館で講義	晴天時 中野市民プール駐車場 集合・解散 雨天時 西部公民館	おおぞら自転車クラブのみなさん	<対象>高校生以上 <定員>20名 <持ち物>自転車(ママチャリでも可)・飲み物・あればヘルメット <受講料>300円(保険料込)
	アロマテラピー講座 香りのハンドクリーム・リップクリームを作ろう!	10月24日(木) 午前10時～正午	西部公民館	熊代 俊恵 先生	<定員>20名 <教材費>500円 ※好きな香りを合わせてハンドクリームカリップクリームを作ります。両方作ることもできます。追加500円
豊田公民館	ストレッチ& ピラティス	10月29日、11月5日、11月12日、11月19日、11月26日 午後3時30分～5時 (毎回火曜日)	豊田公民館	脇坂れい子先生	<受講料>無料 <定員>30名 <服装>運動ができる服装 <持ち物>ストレッチ用マットかバスタオル
	宮沢賢治を楽しむ —最愛の妹トシとの別れ—	11月8日(金) 午後1時30分～3時30分	豊田公民館	近代文学研究者 堀井 正子先生	<受講料>無料 <定員>50名 <持ち物>筆記用具
	高齢者学級 (健康でいつまでも) 音楽で脳がイキイキ! ～秋の歌～	11月11日(月) 午後1時30分～午後3時	豊田公民館	山崎みや子先生	<受講料>無料 <定員>30名程度 <内容>歌ったり、音楽にあわせてからだを動かし、脳を活性化します。

中央公民館からのお知らせ

10月から耐震補強工事を行ないます。工事期間中はご利用いただけない部屋があったり、工事に伴う騒音などで何かとご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、パソコンふれあいサロンは11月いっぱいお休みとなります。

詳しくは、中央公民館(☎22-2691)までお問い合わせください。

秋の市民登山教室参加者募集中

秋の市民登山教室を実施します。参加してみたいかですか。

日時	10月20日(日) 午前4時45分集合 5時出発
登山場所	雨飾山(小谷村)
集合場所	中央公民館
定員	35名
参加費	10,000円
講師	中野山岳会
申込み	中央公民館 受付中
事前説明会	10月11日(金) 午後7時 中野市市民会館
反省会	10月30日(水) 午後7時 中野市市民会館





ピックリさつまいもの花／東町(阿部直美)



キツネノカミソリ／草間山にて(宮澤 聡)

花郷

はなさと
Flower Home



クズ／柳沢(倉田昭平)



オクラの花／柳沢(小林幸成)

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎222・2691
Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を集めます。未発表写真に限りです。四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集!

輝のてのます

今回紹介するのは、正伝しょうでんまるぼし空手道【正伝労働者空手道会】の皆さんです。ここでは、杖・棒術・衣ころもどり武術・無刀むとうどりの空手を行っているとの事で、教えておられるのは安源寺の吉原準八段範士です。生徒さんといっても、皆さんが地元に戻れば各教室で空手を教えている先生で、先生になっても、無の境地を目指して、日々鍛錬しているそうです。

稽古は、西部公

民館で月二回、第二・第四の日曜日の夜八時から行っており、今回見学させていただいた無刀どりの稽古では、木刀を構えて振り下ろそうとする瞬間を見極め対応する場面は、見ている方も息を止めてしまうくらい緊張した空気が伝わってきました。



▲無刀どり